

なまろーど

The Name Road

ホームページアドレス
http://www.ranshokai.jpE-mailアドレス
info@ranshokai.jp発行所 高岡教区寺族青年会
住所 〒933-0878
高岡市東上関466
西本願寺高岡会館内
発行人 青木 哲隆
編集者 広報部
発行日 2017年3月31日

巻頭言

鸞翔会

第二十一代会長 青木 哲隆



日頃より皆さま方には寺族青年会の活動に多大なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度の大きな行事といたしましては、六月に浄土真宗青年僧侶連絡協議会のフットサル大会が当会の主催で金沢にて行われ、大会二連覇を成し遂げました。また九月には、諸先輩方から受け継いできたダーナ・バザーを開催しましたところ、多くの方にご来場いただきました。どちらも盛会のうちに終える事ができました。深く御礼申し上げます。

さて、私の座右の銘ではありませんが、大切にしております言葉があります。

「あなたたちはこれから先、人から手を合わせられる時が来るかもしれない。しかし、それはあなたに手を合わせておられるのではないのです。あなたの身に着けているお袈裟、お衣、そしてあなたが伝えている仏法に手を合わせて頭を下げておられるのです。そこを勘違いしてはいけません。」

この言葉は、中央仏教学院の在学中の二年間に、勤式指導の先生から何度もお聞かせいただいた言葉です。振り返ってみますと、葬儀の時にお焼香に出られた方が私に向かい、深く頭を下げてくださいます。特別養護施設での法話会に向かせていただく時も、多くの方が手を合わせて迎えてくださいます。そのほとんどは人生の大先輩です。先生がおっしゃったように、他にも何度もそのような場面に出あうことがあります。私は勘違いをしてみたいようになるその度に、この言葉を思い出すようにしております。

私たち僧侶は、お寺に住まいをさせていただく場合がほとんどです。

そして、そのような環境の中で先のような場面に出あい続けるならば、ややもすると一國一城の主のような錯覚に陥りやすいのではないかと思えます。つまり、誰からも指摘を受けない、自らの立場に甘んじて勘違いをしてしまうと思うのです。

この寺族青年会の良さは、年齢層は広いのですが年齢に関わらず自由に発言し、お互いを指摘し合える仲間がいるということです。一人では気づくことのできないことや、成しえるのが難しいことを、仲間と共に考え行動を起こしていく会です。ただご入会いただいていない各寺院の青年僧侶の皆さま、是非ともご入会ください。

これからの寺院を取り巻く環境はさらに厳しくなっています。だからこそ一人でも多くの仲間と悩みや喜びを共有し、後世にみ教えを伝えていかなければならないと思います。

各ご寺院・諸先輩方には、今後とも変わらぬご指導ご助言を賜りますようよろしくお願いいたします。

第21回 ダーナ・バザー

平成28年 9月 3日

五位組 福田 慶 隆

九月三日、西本願寺高岡会館にて、第二十一回ダーナ・バザーが行われました。

今回のバザーでは、新たな試みとして「念珠直し」・

「縁日」・「酒類の販売」をさせていただきますました。当日までの準備期間や参加者数など、不安な面は少なからずありましたが、結果としてとても有意義な試みができたのではないかと思います。「念珠直し」によって寺青ならではの仏教色がバザーに加わり、子供たちで賑わった「縁日」は更なる活気をバザーにもたらしてくれました。また女性ばかりでなく男性の姿も多く見られた「酒類の販売」は、バザー収益にも大きく貢献してくれました。

何よりもありがたかったのは、寺青会員の皆さんの心強い参加協力でした。昨年度からの「四十周年事業」・「フットサル全国大会」に引き続き、それら行事で素晴らしい結果を重ねてきてくださったからこそ、今回のバザーにつながったのだと思います。本当にありがとうございます。

反省会では課題も多くできましたが、会員皆で結束し向き合っていくことで、今回のバザーに向けても、新たな可能性はきっと広がっていくことと思います。

なお収益金については、県内の福祉作業所、日本国際ボランティアセンター、高岡教区災害支援ネットワークに加え、四月に発生した熊本地震の被災地である熊本教区益北組に送らせていただきました。改めて、高岡教区各ご寺院、各福祉作業所、高岡龍谷高校の生徒の皆さんのご協力に対し、厚く御礼申し上げます。



第一回寺青連研「念珠直し」

平成二十八年十月二十四日

若神組 麻生 裕善

第一回寺族青年会連続研修会では、ご講師として水波組西養寺より、村上潤也氏をお招きし、お念珠の直し方をご指導いただきました。

寺青レクリエーション

平成28年 9月14日・11月20日、平成29年 2月26日

若神組 水上 賢志

九月に開催されました、「つながり」をテーマとしたダーナバザーにおきまして、新たな試みとして、お念珠直しを受け付けましたところ、たくさんのご依頼を頂きました。そのお預かりしたお念珠をもとに、紐の通し方や編み方を学びました。今まで自分でお念珠を直したことがなかったもので、「紐の編み方さえ分かれば簡単なものだろう」とタカをくくっていました。ですが実際やってみると、紐の編み方も複雑で、一本一本丁寧に編み上げていかないと、規則正しい紐房にはなりません。ご講師の丁寧な指導により、何とか編み上げることができました。しかし編み方よりも、親玉と呼ばれる、一番大きな珠に紐を通すことのほうが大変な作業であるということが分かりました。二時間余りの時間だったのですが、私は一つしか完成させることができませんでした。普段何気なく扱っているお念珠ですが、ただの道具や飾りではなく、阿弥陀様との「つながり」を味わわせていただく。そういう意味においても、私達僧侶、またご門徒さんにとっても大切な仏具であるということを再確認させられた、実りある研修会でした。

会員のみならず、家族を含め相互の懇親が深まる行事をとの青木会長の思いから、開催されている寺青レクリエーション。昨年度に引き続き今年度も三回開催された。

第三回レクリエーション、平成二十八年九月十四日、閑乗寺BBQ開催。当日は生憎の雨模様で、寒さも感じる気候ではあったが、屋内での食事であった為、快適に楽しむ事ができた。ロッジでの二次会では、本格的なDJブースもあり、音楽を楽しみながら盛り上がった。子供たちの参加も多く、初めて家族で寺青の行事に参加された方もおられた。

第四回レクリエーション、平成二十八年十一月二十日、寺青卓球王決定戦開催。会員に卓球経験者も多かったが、試合は皆にチャンスがあるようにハンディキャップもつけられた。その為、女性や未経験者も大いに楽しみながらプレーする事ができた。その後の食事会でも、夫婦での参加が多く、普段の寺青とはまた変わった会話を楽



しんだ。

第五回レクリエーション、平成二十九年二月二十六日、ビーチボールバレー大会開催。今回はチーム戦であるので、各組対抗という形で行われた。その為か、最初は和気あいあいとプレーしていたものが、最後には皆真剣になり、熱気あふれる試合が繰り広げられた。今回も家族での参加もあり、OBの皆様も多く参加していただいた。

懇親会というところ、今まではお酒を交えた食事会がメインというものが多かったように思う。どうしても、子供連れや夫婦での参加は躊躇する方が多かったのではないだろうか。今年度は、誰もが気兼ねなく参加できるようスポーツを中心とした企画も開催された。これにより、夫婦や子供はもちろん、時には母親まで参加しての寺青懇親会となった。これからは家族で楽しめる懇親会を続けていきたい。それが、今後の寺青活動に新たな風を吹き込むきっかけになるのではないだろうか。

第九回 浄青僧フットサル大会

平成二十八年六月二十九日

糸岡組 初瀬部 真亮

六月二十九日、第九回浄青僧フットサル大会が石川県白山市において開催されました。

会員の皆様には、準備段階から当日運営にいたるまでご協力と応援をいただき、心よりお礼申し上げます。

当日は、自教区を含め全九教区十チーム、参加者一〇四名を数え、他教区若手僧侶の方々との交流・研鑽をはじめ、高岡教区内メンバーとの繋がりも、改めて深める事ができたように思います。先般報告させていただきましたように、チームの悲願でありましたホームでの「大会2連覇」も達成することができ、これ以上ない素晴らしい一日になったように思います。

また大会開催にあたっては、OB・OGの皆様方に協賛金などたくさんの方の応援とご支援をいただきました。皆様には「やりたいことを思い切ってやりなさい」「頑張ってくださいね」「必ず優勝してこいよ」と、たくさんの方の励ま



しと応援のお言葉をいただいた事も印象深く思い出します。多くの不安を抱えていた私たちでしたが、その応援に背中を押されながら、勇気を持って大会の準備・運営に臨む事が出来ました。改めて会員一同心よりお礼申し上げます。

振り返ってみますと、私自身たよりない実行委員長でありましたが、会員の皆様、チームロータスのメンバーの助けの中で何とか大会を終える事が出来ました。半年間にわたる準備期間の中で、大会成功へ向けて仲間と共に歩んでこられた事は、私にとって非常に貴重な経験でした。改めて寺青青年会の温かさを感じさせていただく事の出来た、有難い日々でありました。

今大会は、大会の成功とチームの2連覇という事を目標に進んでまいりましたが、同時にこの大会を機会に、会員同士の繋がりをより深め、そして自分たち自身が楽しもうという思いが共通認識としてあったように感じました。その中で、多くの若手会員が積極的にアイデアを出し合い、議論を重ねてくれた姿も執行部として大変心強く嬉しい事でした。

今回の経験や反省を会員の皆さんと共有しながら、これからの会活動の発展に繋げていけたらと思っております。

実践運動研修会

平成二十九年十二月十一日

五位組 岡西好持

去る十二月十一日、西本願寺高岡会館において寺族青年会実践運動研修会が開催され、日下賢裕氏（石川教区江南組恩栄寺衆徒）を講師に、「次世代へのアプローチ」をテーマに講演をいただいた。

日下氏は、若い人たちがよく利用する用語や現代的な表現を用いた揭示伝道の例を紹介、「(昔)衆生仏を念ずるとき 仏衆生を念じたもう(今)阿弥陀さま 光の速さでリツイート」などのそれらは実際SNSなどで拡散され、若い人たちにも注目されていることや、門信徒以外の人たちにもアプローチできる手段として、WEBや寺報などの活用を挙げられた。

また、お寺でイベントをすることの賛否についても取り上げ、布教や法座は種に水やりをするようなもので、その土壌となるのがお寺であり、様々なイベントをすることはお寺という土壌の活性化につながるのではないかと提言され、「これをやればOKという正解があるのではなく、地道な積み重ねの中でしか成果と課題は見いだせないのではないか」と回答された。

その上で次世代へのアプローチとは必ずしも目新しいことをすることではないと指摘、「自らがこれからのお寺を担う次世代として、お寺の長所とその価値を再発見し、何がひらかれたお寺なのかを模索していくことが重要」だと提起された。

今回の研修と研修後の忘年会には氷見寺族青年会の会員も参加され、忘年会も大いに盛り上がりを見せた。執行部では今後もこのような研修やイベントでの協同を予定している。



仏青結成五十周年記念の集い

平成二十八年十月九日

射水組 公文名 智

去る十月九日、本山において「仏青結成五十周年記念の集い」が開催されました。開会式において御門主が述べられた「若い世代にみ教えを伝えることの意味」「そのための工夫」というお言葉が印象的でした。鸞翔会においてもそのような議題で研修の場を設けていたこともあり、大きな課題であることを再確認いたしました。継続して情報の共有、そして実践へと繋げていきたいと思えます。

その後、各教区仏青によるブース展示が行われました。我々高岡教区ではバザーの時にも好評だった「縁日」を行い、高岡や富山にちなんだ物を景品として用意することによって高岡・富山の魅力も存分にお伝えすることが出来たのではないかと思います（来場者投票による最優秀ブース賞は富山教区に獲られました）。その他にも影絵劇やナムナムガールズによるコンサートなどもあり大変な賑わいをみせておりました。

仏青が積み重ねてこられた五十年の歩みに改めて思いを致し、私たち鸞翔会としましても歴史あ



第25回 浄土真宗青年僧侶連絡協議会 全国大会

平成29年2月9日・10日

水波組 耳 浦 康 真

る仏青に多くを学びつつ共に連携・協力し、実りある活動を続けてまいりたいと思えます。み教えに出会い、問い、聞き、学び合う。そういった「仲間“や場”を今後も数多く作っていききたいと思えます。

二月九日・十日の二日間にわたり、今年度の理事教区である東京教区青年僧侶連絡協議会主催で、築地本願寺を会場に「第二十五回 浄土真宗青年僧侶連絡協議会 全国大会」が開催されました。本会からは六名の参加でした。

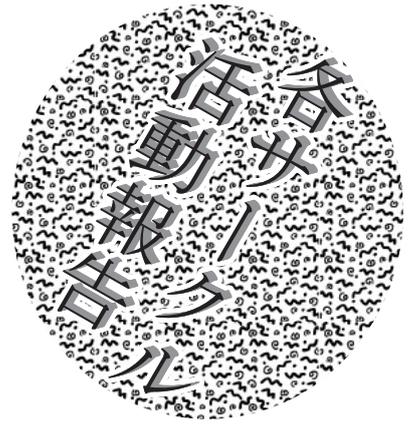
まずは『宗祖讃仰作法 音楽法要』の記念法要から始まり、鸞翔会からは私が代表として出勤させていただきました。おそらく一生に一度きりであろう、築地本願寺の内陣への出勤は独特の緊張感があり、久しぶりに勤式指導所時代の本山での出勤を思い出しました。

シンポジウム・研修は「浄土真宗だからできることー僕らの時寺問題ー〇一七」をテーマに、まずは「夜回り先生」こと水谷修さんに、現代の若者たちの心の問題の現状やその背景、またその解決に向け、宗教がすべきことについて問題提起をしていただきました。その後に釈徹宗さんがコーディネーターで、他に三名の本願寺派布教使にご講師として参加していただき、ディスカッションが行われました。

二日目は前日のご講師(紫藤常昭師・脇谷暁融師)に登壇していただき、前日のディスカッション内容の統括、並びに浄土僧会員からの質問にお答えしていただくという内容でした。

この二日間の研修は、私たち青年僧侶がこれからの時代でのいろいろな新しい布教方法を示してくれる機会であり、充実した時間だったと思います。





勤式サークル

代表 麻生 裕善

この勤式サークルは、二〇一五年八月に雅楽練習会として結成され、今年度秋頃に寺青サークルの仲間入りをしました。活動内容は主に雅楽の練習ですが、各法要出勤時には、声明の練習もします。二人の寺青会員OBの方を講師としてお招きし、月一回練習をしております。現在十三名の会員が参加しています。

昨年九月には、西養寺様の勉強会にて披露の場を設けて頂き、会員四名が参加しました。また勤式サークルにおきましても、新たな取り組みを企画していきたいと思っております。勤式指導所出身、またそうでない方も興味のある方は気軽に声をかけていただければと思います。

若神組 専龍寺 麻生まで。

手話サークル

代表 射水 梓

平成二十八年度も、手話サークルでは福岡高校や高岡手話サークル雷鳥会等でも手話を教えていらっしやる脇坂菊雄さんをご講師に迎え、練習を行いました。月に一回程度のペースで雑談の中から手話を学んだり、手話コーラスの練習をしてきました。

今年度は特に、森山良子さんが歌われた「涙そうそう」AKB48の楽曲「365日の紙飛行機」の手話コーラスを練習しました。

手話コーラスに関しては、ポピュラー音楽だけではなく仏教讃歌など、サークル員の方のリクエストに応じて練習する曲目を決めています。

しかし現在、練習に集まることのできるサークル員の方も少なくなっております。基本的には平日の午後七時半から教務所でサークル活動を行いますので、手話にご興味をお持ちの方の参加をお待ちしております。全く手話に触れたことのない方でも、その方のペースに合わせて勉強していただければかと思えます。

見学も大歓迎です。練習日等お知らせいたしますので、伏木組光西寺射水までお気軽にお尋ねください。

蓮花の会

代表 土合 祐子

三月十六日に、親睦会を行いました。六名のメンバーと、ありがたい時間を過ごさせて頂きました。

二十八年度の反省をし、二十九年度に学びたい事、やってみたい事の意見交換や相談をし、二十九年度の見通しを持つ事ができました。

メンバーが顔を合わせ語り合う事は、やはり大切だなと改めて感じました。近況報告や、日常の何気ないちょっとした悩み、子育てや各々のお寺の事など、語り合いながら、親睦を深める事ができたと思います。

メンバーの皆さんと笑い合えたご縁に感謝し、今、ここに来れたこと、家やお寺、子ども達を引き受け、笑顔で『行ってらっしゃい』と送り出してくれた家族に感謝します。

これからも女性として、どう寺院を守り、み教えを伝えていけるのか、皆さんと考え実践していきたいと思えます。

二十九年度、メンバーの皆さんにお声掛けしますので、時間と気持ちのタイミングが合えば、ぜひ、一緒に活動していきましょう！お待ちしております♪

フットサル

代表 水上 賢志

高岡が主催し開催された第九回浄青僧フットサル全国大会では、皆様のご協力のおかげにより大成功で終えることができました。チームとしても二連覇という素晴らしい結果を達成する事ができました。本当にありがとうございました。

さて、大会も終わりはばらくは気が抜けて、練習の人数も少ない時もありましたが、これからも積極的に練習してレベルアップを図っていきたくと考えております。

第十回全国大会は六月二十一日、広島にて開催予定です。今の所、組の行事などあり参加者が少ないのではないかと危惧しております。この機会にぜひとも新たな参加者の募集しております。経験の有無は問いません。ぜひとも興味のある方は参加よろしくお願いたします。

詳細につきましては、水上までお問い合わせください。

退会者より一言



水波組 大永寺
野田 龍亮さん

これからも若者が集いやすい会になってください。



関野組 本龍寺
富永 誠さん

寺青会員になり早十五年、いよいよ退会の年となりました。振り返ってみますと素晴らしい先輩や後輩、同級生と出会えたことが一番の思い出です。若いから出来たことや若さゆえの過ち…時が経てばすべて解決！とはなりません、反省をしつつ次へのステップへと進んでまいりたいと思います。

大変お世話になりました。合掌



新湊組 妙蓮寺
増山 孝琢さん

お世話になりました。



射水組 真福寺
子川 真成さん

鸞翔会会員の皆様へ
射水組の子川です。この度退会を迎える事となりました。

しばらく欠席が続きましたが、ご迷惑をかけ申し訳ありませんでした。今後も皆様とはお会いすることがあるかと思いますが、その節は宜しくお願ひ致します。
会のさらなる発展を願ひ、退会の挨拶とさせていただきます。



射水組 光源寺
土合 真祐さん

寺青の活動にあまり参加できず、申し訳ありませんでした。小学校の教員をしています。教育は、人格の完成を目指しています。その教育現場でいろいろ話を聞きますが、浄土真宗の教えと重なる部分が多々あると感じ、喜んでおります。これからも、皆さんとのつながりを大切にしながら、自分磨きに努めます。

ありがとうございます。合掌



射水組 誓光寺
菊地 瑞也さん

振り返ると楽しい思い出もありませんでした。十年以上に渡って素晴らしい先輩、同期、後輩とたくさんのお会いと思ひ出をいただきました。親鸞聖人のおかげでみんなに会えました。ありがとうございます。



氷見組 真福寺
大川 謙さん

会報等で同世代の皆さんの活躍を見ているだけの十数年でしたが、それもまた楽しかったような気がします。それでは皆さんお元気で、ありがとうございました！



氷見組 西光寺
赤沼 唯教さん

出席回数も乏しくレアキャラになってしまいました。ありがとうございます。



色々とお迷惑をお掛けしました。
ありがとうございます。



氷見西組 願正寺
瀧山 志穂さん

私の一歩の思い出は寺青でのバザーと蓮花の会です。バザーでは多くのお客様にお越しいただき、有り難く達成感がありました。
蓮花の会では会長を二年務めました。行事を企画し行った時のドキドキ感。会員の方が参加してくださった時の嬉しさ。多くのことを学ばせていただき感謝しています。



氷見東組 長福寺
北鹿渡 有子さん

新入会員の紹介

新入会員の方にインタビューしました。

- ① 趣味または特技
- ② 苦手なものは？
- ③ 何か一言



新湊組 常教寺
常川 正智さん

- ③ 色々な事で精進していきます。
- ② わからない事ばかりですが、先輩方から
- ① 辛い物
- ① ドライブ、漫画

- ③ ② ① 料理、食べることに、たまにトレーニング
- ③ ② ① 長時間の正座
- ③ ② ① いつも寺青の方達との活動を楽しみにしています。今後とも宜しくお願い致します。



川上組 聴信寺
石黒 英俊さん

- ③ ② ① 落語鑑賞、常磐津鑑賞、JAZZ鑑賞
- ③ ② ① タツノオトシゴをつけた麦焼酎
- ③ ② ① 右も左もわからないので宜しく願います。



糸岡組 光顔寺
養宇 理さん

高岡教区寺族青年会では随時新入会員を募集しています。
気軽に参加しませんか。



新入会員募集



<http://www.ranshokai.jp>

ホームページ
随時更新中!!

法輪せんべいのご案内

法輪せんべいは、当会が販売する法輪マークと法語が印された一袋二枚入りのおいしいせんべいです。

この法輪せんべいの収益金は、当会活動費の他、様々な社会活動への寄付や資金に充てられています。

報恩講や永代経のお飾りに、門信徒さんへのお返しや、ちょっとした贈答品などに、どうぞご用命くださいませ。

(*表示してある価格は、いずれも販売価格です。)

お申し込み、お問い合わせは
代表番号 050-5587-7708
アドレスはhourin18@gmail.com



パッケージはサクラと若草色の二色です。

品目	袋数	価格
特大	170	8,300円
1組	10	500円

なまそろーど四十二号の発行にあたり、会員の皆様にはご協力をいただきありがとうございました。現体制になってからの二年間を振り返ってみますと、恒例行事に加え寺青四十周年、フットサル大会、ダーナ・バザーと、本当に会員それぞれが忙しく走り回っていたように思います。偶然にも重なった行事の数々でしたが、二年たった今では、それも単なる偶然とは思えず、これからの私たちに必要不可欠な、不思議な巡り合わせの二年間だったと感じています。この濃密な日々においてたくさんの方の出会いと学びがあり、多くの議論が交わされ、その中で育まれた仲間との力強い繋がりを嬉しく思います。

現体制はこれにて終了しますが、来年度以降も、会員の皆様と共に様々な課題を共有しながら、実りある会活動を進めていけたらと思います。

編集後記